

自由党と並ぶカナダの二大政党のひとつである進歩保守党（プログレッシブ・コンサーバティブ・パーティ）は、一八五四年に組織された自由保守党にさかのぼる。現存するカナダの政党の中では、最も歴史が古い。

同党は、のちに初代カナダ首相となるジョン・A・マクドナルドが、カナダ連邦の結成、国有鉄道の敷設などを目的に、東部の商人階級、保守的なフランス系住民、そしてオンタリオ・トリー党などを連合してつくった全国的なグループであった。英国との伝統的な関係を維持し、保護関税政策によって国内の商

工業を振興する——それが基本政策である。

## 進歩保守党の歩み

マクドナルドのもとにカナダの国家建設を果たし、大陸横断鉄道を敷き、産業基盤をつくった保守党は、短期間を除いて、一八九六年まで政権を握っていた。

しかし、その後はあまり振るわず、今日までの八十八年間のうち、保守党が政権をとったのはわずか二十年間。とくに第二次大戦後は、デューフェンベーカー首相（一九五七年六月—六三年四月）、クラーク首相（七九年五月—八〇年二月）の、合計六年七か月に過ぎない。

これまで保守党（一九四二年に現在

の進歩保守党と改名されたが、単に保守党という場合も多い）が政権に縁遠かったのは、いくつかの原因があるといわれている。もともとフランス系カナダ人は英国寄りの同党にあまり好意的でなかったが、フランス系カナダ人とインディアンとの混血であるメティスが反乱を起こしたとき、フランス系住民の懇請にもかかわらずそのリーダー、ルイ・リエルをマクドナルド政権が処刑したのがひとつ。さらに、第一次大戦のとき、嫌がるフランス系カナダ人を徴兵したことで、ケベックにおける保守党の人気は急落した。その上、保

守党時代に大不況に見舞われるという不運が重なり、以来自由党優

勢の時代が続くことになる。

保守党にとって致命的だったのは、ケベック州で支持がなかったことである。デューフェンベーカー党首のとき五十議席を制した、という例外はあるが、七九年には七五議席のうち二議席、八〇年には一議席しか確保できなかった。ケベック州は全議席のおよそ三〇パーセントを占めるだけに、同州での人気はこれだけ低ければ、他の州でいくら努力しても、選挙で勝利を収めるのはきわめて難しい。今回の選挙で大勝利を収めたのも、ケベックで五十八議席をとるといふ番狂わせが一因となった。

保守党は、伝統的に自由党と比べて右寄りで経済界に近いとされ、これも不人気の原因であったが、両党の間に基本的な政策の違いはない。

前回のクラーク保守党政権は、国有石油会社ペトロ・カナダの民営化、ガスリン価格の引上げといった思い切った政策をとった。しかし今度の選挙では、進歩保守党は意識的に「右寄り」のイメージを打ち消す政策をとった。

例えば、マニトバ州におけるフランス語使用の無条件支持、国庫補助医療制度の後退を阻止するための自由党法案の支持、社会主義政党である新民主党が押ししてきた金持ちに対する最少限課税、などがそれである。

しかし、雇用創出、経済の再活性化、女性差別反対などについては、両党の間にそれほど違いはない。ただ、対外政策では、保守党は防衛予算の増大を主張し、また、外国投資規制の緩和、対米関係の緊密化を訴えた。

なお、進歩保守党は、オンタリオ州、アルバータ州、サスカチュワン州、ニュー・ブランズウィック州、ニューファンドランド州、ノバ・スコシア州、プリンス・エドワード・アイランド州でも政権の座についている。十州のうち、同党が政権を握っていないのは、ブリティッシュ・コロンビア（社会信用党）、マニトバ（新民主党）、ケベック（ケベック党）の三州だけである。

### カナダの歴代首相と所属党

1. ジョン・A・マクドナルド	保守党	1867. 7. 1—1873. 11. 5
2. アレクサンダー・マッケンジー	自由党	1877. 11. 7—1878. 10. 16
3. ジョン・A・マクドナルド	保守党	1878. 10. 17—1891. 6. 6
4. ジョン・アボット	保守党	1891. 6. 16—1892. 11. 24
5. ジョン・トンプソン	保守党	1892. 12. 5—1894. 12. 12
6. マッケンジー・ボウエル	保守党	1894. 12. 21—1896. 4. 27
7. チャールズ・タッパー	保守党	1896. 5. 1—1896. 7. 8
8. ウィルフレッド・ローリエ	自由党	1896. 7. 11—1911. 10. 6
9. ロバート・ボーデン	保守党	1911. 10. 10—1917. 1. 12
10. ロバート・ボーデン	保守党	1917. 10. 12—1920. 7. 10
11. アーサー・ミーエン	保守党	1920. 7. 10—1921. 12. 29
12. W・L・マッケンジー・キング	自由党	1921. 12. 29—1926. 6. 28
13. アーサー・ミーエン	保守党	1926. 6. 29—1926. 9. 25
14. マッケンジー・キング	自由党	1926. 9. 25—1930. 8. 6
15. R・B・ベネット	保守党	1930. 8. 7—1935. 10. 23
16. マッケンジー・キング	自由党	1935. 10. 23—1948. 11. 15
17. ルイ・サンローラン	自由党	1948. 11. 15—1957. 6. 21
18. ジョン・ディフェンベーカー	保守党	1957. 6. 21—1963. 4. 22
19. レスター・B・ピアソン	自由党	1963. 4. 22—1968. 4. 20
20. ビエール・エリオット・トルドー	自由党	1968. 4. 20—1979. 5. 22
21. ジョー・クラーク	保守党	1979. 5. 22—1980. 2. 18
22. ビエール・エリオット・トルドー	自由党	1980. 2. 18—1984. 6. 30
23. ジョン・ターナー	自由党	1984. 6. 30—1984. 9. 17
24. ブライアン・マルルーニー	保守党	1984. 9. 17—